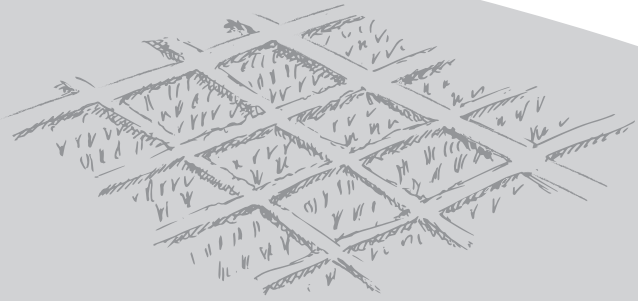
# 吉見町
# 人口ビジョン
## （概要版）



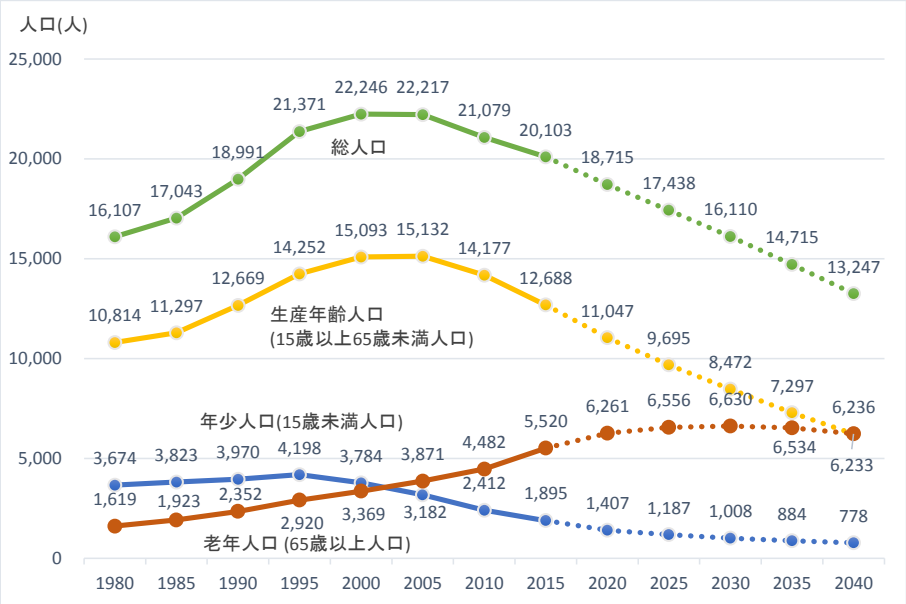
平成 27 年10月

吉見町

# 現状分析: 吉見町の今

## 総人口および年齢３区分別人口の推移

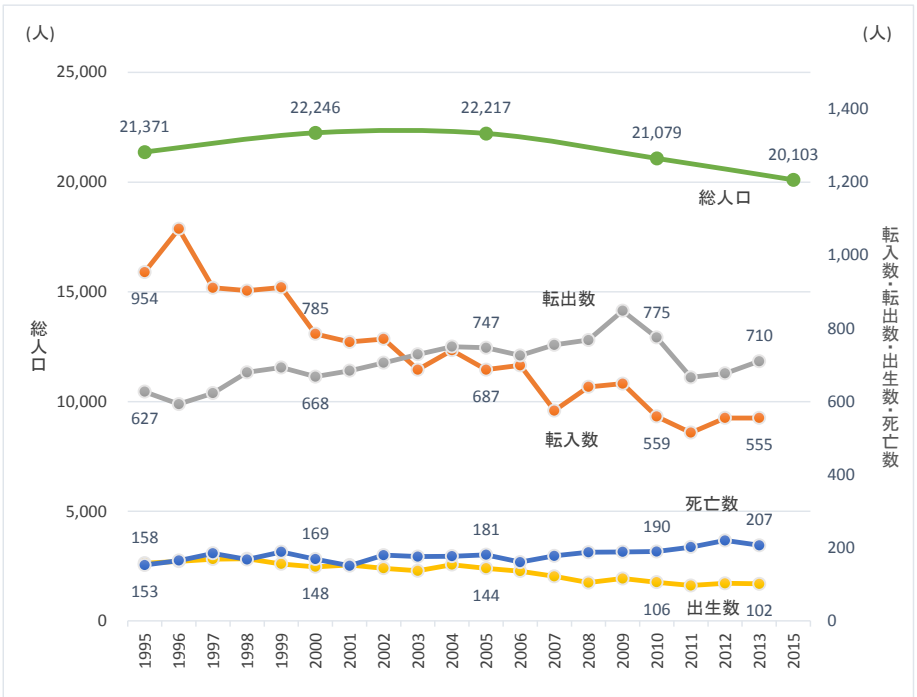
国立社会保障・人口問題研究所によると、町は 2000 年頃をピークに人口減少傾向になり、2015 年現在で人口は約 20,000 人、年少人口（15 歳未満人口）に関しては約 1,800 人となっています。逆に老年人口（65 歳以上人口）は、2015 年の段階で約 5,500 人まで増加を続けており、今後財政規模の縮小が予想される中で介護福祉を中心とした公共サービスの充足を行う必要があることが予想されます。




吉見町 総人口および年齢３区分別人口の推移

## 転入数・転出数・出生数・死亡数の推移

自然増減（出生数および死亡数）を見ると、2001 年までは出生数と死亡数がほぼ同数であったものの、その後死亡数が出生数を上回りその差は徐々に拡大しています。出生数はゆるやかな下降傾向が続いています。また、社会増減（転入数および転出数）を見ると、転入数は 1996 年をピークに増減を繰り返しながらも全体としては顕著な下降基調が続く一方、転出数はゆるやかな増加傾向にあります。

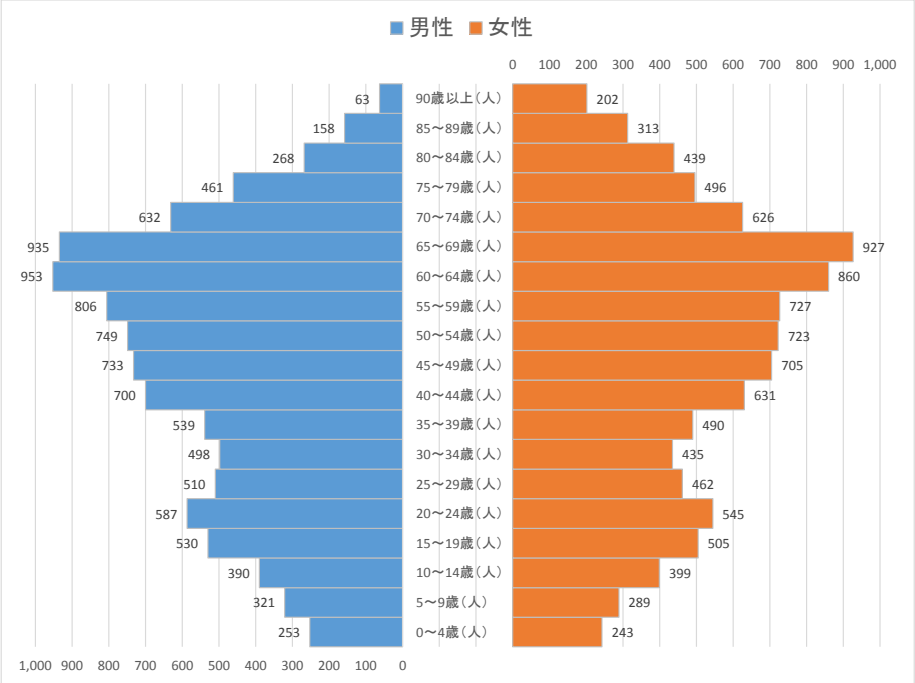



吉見町 総人口・転入数・転出数・出生数・死亡数の推移

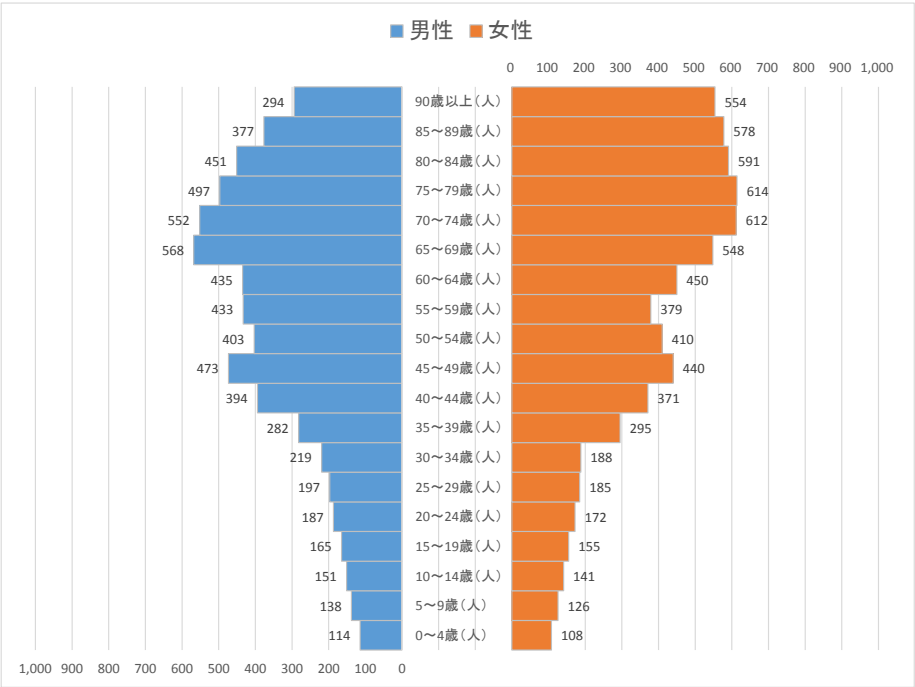
## 年代別推計人口

年代別に町の人口を見ると、2015 年現在、町で最も人口の多い年齢層は、男性が 60～64 歳、女性が 65～69 歳となっています。次いで人口の多い年齢層は、男性が 65～69 歳、女性が 60～64 歳と、60 代が町で現在最も人口の多い年齢層といえます。一方、39 歳以下の若い年代を見てみると、最も人口の多い年齢層は、男性・女性ともに 20～24 歳の年代となります。

一方、2040 年の年代別の人口推計を見ると、傾向は現在と異なります。最も人口の多い年代は男性が 65～69 歳、女性が 75～79 歳となっており、現在の町よりもさらに高齢化が進むことが見込まれます。また、2015 年現在、比較的人口の多い 20～24 歳の年代は 45～49 歳となり、それ以下の年代では年代が下がるにつれて人口が減少し、少子高齢化による人口ピラミッドの逆三角形の形がより鮮明となります。



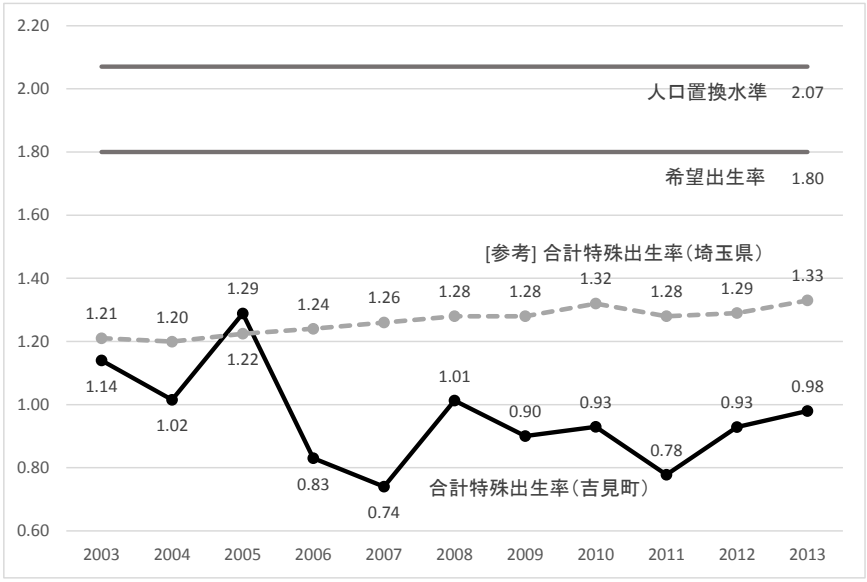

吉見町 年代別推計人口（2015 年）




吉見町 年代別推計人口（2040 年）

## 合計特殊出生率

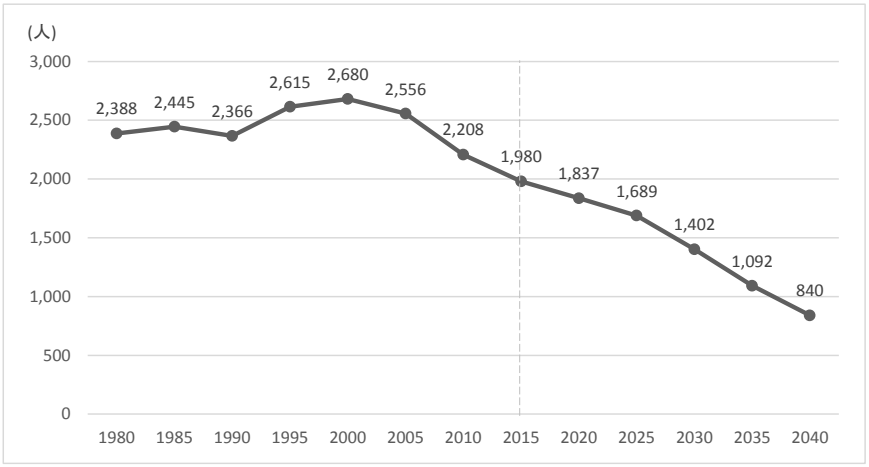
こうした状況の改善を考える上でポイントとなるのは、出生数の増加です。町の合計特殊出生率はここ数年1.0を下回る水準で推移しており、かつ国の目標値である希望出生率(1.8)および、人口を維持するのに必要な出生水準(2.07)に届いていない状況にあります。




吉見町 合計特殊出生率

## 20～39歳女性の人口

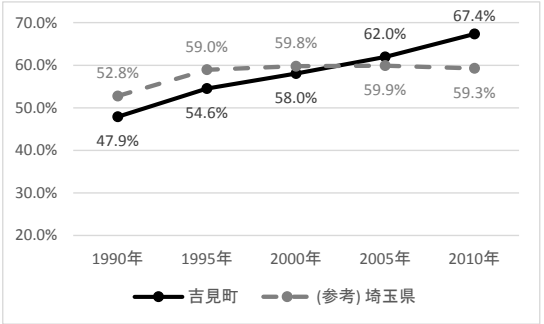
出生に大きく影響を与える出産適齢期の女性の数も同様に下降しており、現状の傾向が続いた場合、出生数の改善は難しいと予想されます。



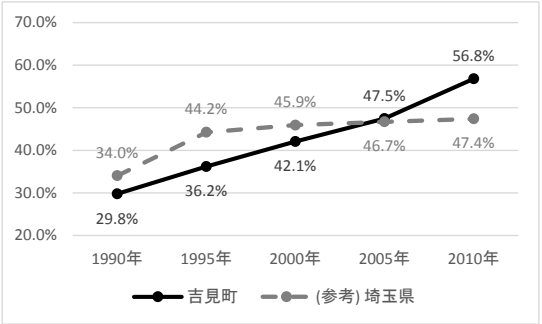

吉見町 20～39歳女性の人口

## 20～39歳未婚率

出生に関係する未婚率については、年々増加傾向にあります。また、男性の方が女性よりも未婚率が高い傾向が変わらず続いています。



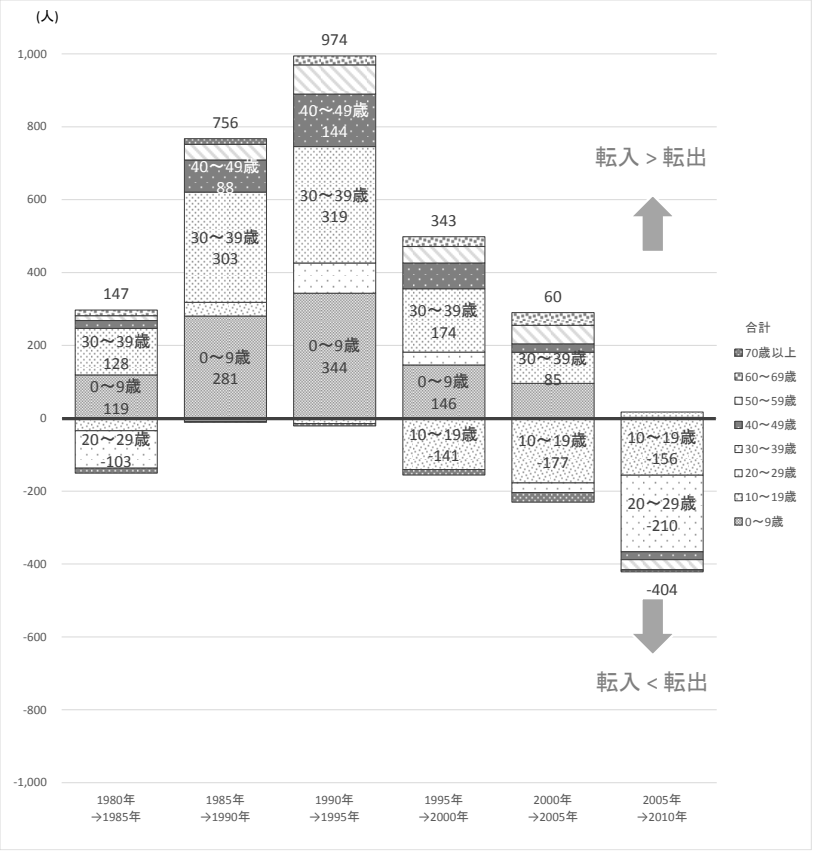

吉見町 20～39歳未婚率（男性）



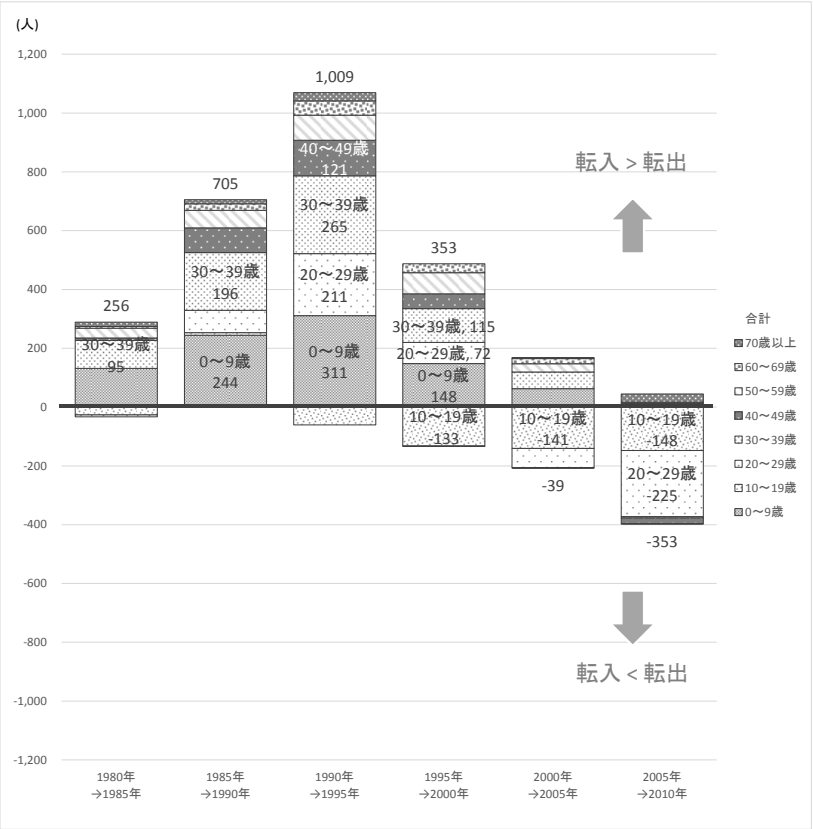

吉見町 20～39歳未婚率（女性）

## 年代別純移動（転入－転出）数

人口改善におけるもうひとつのポイントは、若い年代の流出防止です。吉見町を離れる転出者の数は増加傾向にあり、さらに直近の動きを見ると、10 代、20 代の転出の多いことが現れています。




吉見町 年代別純移動（転入－転出）数（男性）

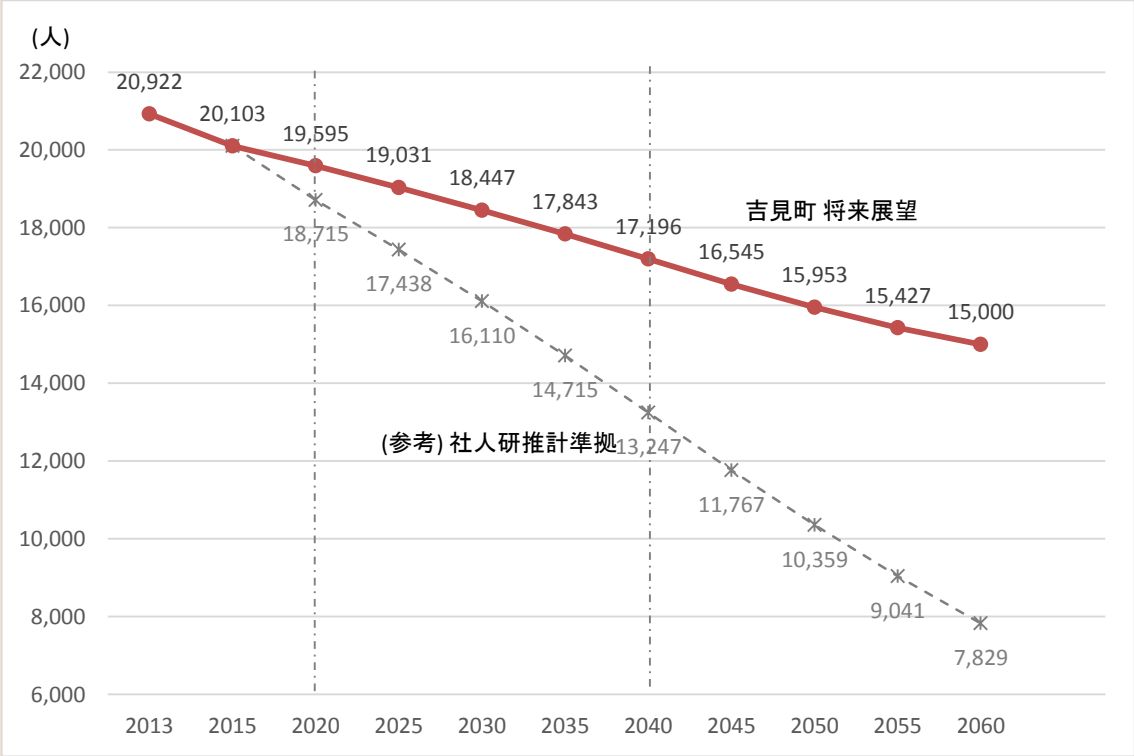



吉見町 年代別純移動（転入－転出）数（女性）

# 吉見町の将来展望

自然増減については、国の長期ビジョンにおける合計特殊出生率の目標値（2020 年 1.6、2030 年 1.8、2040 年 2.07）を踏まえ、町としても中長期的にはこれらの合計特殊出生率を達成すると仮定し、国の合計特殊出生率と同じ上げ幅で現状の合計特殊出生率を徐々に改善しながら将来人口推計を行います。具体的には 2060 年に人口 15,000 人の確保を目標として、2040 年に合計特殊出生率 1.6、2050 年に合計特殊出生率 1.8 を超え、2060 年に 2.07 を目指します。

また社会増減については、転入者が転出者を下回る現状を改善し、2015 年～2020 年の間に純移動数がプラス（転入数が転出数を上回る）とし、その後も定住化施策を進めることにより純移動数は増え続けると仮定した将来人口推計となっています。




吉見町 将来展望推計

| 人　　口 | | | |
|---|---|---|---|
| 国 | 2060年に　1億人程度の人口を確保 | 2013年　1億2,730万人 | →　2060年　1億194万人 |
| 町 | 2060年に　15,000人程度の人口を確保 | 2013年　20,922人 | →　2060年　15,000人 |

| 出　生　率 | |
|---|---|
| 国民の希望が実現した場合の出生率 | 2013年　1.43　→　2020年　1.60　→　2030年　1.80　→<br>2040年　2.07　→　2060年　2.07 |
| 国と同じ上昇幅による出生率 | 2013年　0.98　→　2020年　1.15　→　2030年　1.35　→<br>2040年　1.62　→　2060年　2.07 |

| 社　会　増　減 | |
|---|---|
| 国の方向 | （東京一極集中を是正） |
| 町の方向 | 施策により2060年の人口を15,000人にするため<br>人口移動を転入数＞転出数にする |

吉見町

Yoshimi